

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 恵那特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月30日(金) 9:30~11:30
- 3 開催場所 知新会館(恵那特別支援学校隣接)
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

	会 長	渡邊扶砂江	当校PTA会長
	副会長	宮地 喜義	岩村地域学校協働活動 推進委員
	委 員	小栗 礼子	地域住民(小栗左官)
		籠橋 美憲	岩村コミュニティセンター 三学塾塾長
		斎藤 寿久	特定非営利活動法人くわのみ放課後等デイサービス 日中一時支援事業 りんごクラブ 管理者
		鈴村 由香	障害者地域支援センター 結
		長谷川則子	認定NPO法人かがやきキッズクラブ (理事長 施設管理者)
		渡邊 康正	明知鉄道株式会社 代表取締役専務(欠席)
	学 校 側	三島 祥江	校長
		丹羽 高	事務部長
		藤井 智子	教頭
		片山 麻紀	小学部主事
		佐々木 真	中学部主事
		小木曾齊昭	高等部主事
		野村恵美子	教務主任(欠席)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 今年度の取組の成果と課題について

※第2回学校運営協議会で委員の方から頂いた意見や助言をもとに、後期の学校運営を進めてきた。その取組の成果と課題について説明した。

ア 地域の施設や人材の活用

→岩村町の各種行事への参加(いわむら町民展での作品展示、いわむら城下町のひなまつりへの参加)や、介護施設との交流、地域の講師を招いたからすみ作り、地域の農家での味噌作り、佐藤一斎學びのひろばや恵那市中央図書館岩村分館~伊藤文庫の利用等

イ 生活力(買い物や公共交通機関の利用等)の向上や進路指導の充実

→徒歩や明知鉄道を利用したる岩村町内の商店やコンビニエンスストアでの買い物

学習の実施、企業・福祉事業所合同説明会および企業・福祉事業所見学の実施、
現場実習報告会の保護者参観、企業・福祉事業所職員との作業体験交流等

(2) 授業見学

- 意見1：児童生徒が楽しく学ぶ工夫がされており、日常的に必要な知識や技能を体験的に学習している様子が多く見られた。
- 意見2：算数の授業で100円で何が買えるのかを学習していた。実生活につながる実践的な学習であり、児童は関心をもって学んでいた。

(3) グループ討議

- 意見1：座って話を聞く、一定の決まり事の中で活動する、ルールを守って行動する、言葉や身振り等で意思を伝えるなど、ゆっくり確実に力を付けていってほしい。
- 意見2：児童生徒一人一人が社会に出ることを意識して、将来を見通した学習を継続し、指導していくことが大切である。例えば岩村町での催しである、クラフトフェア等で、一般の人に製品を売ったり、やりとりをしたりすることを通して、社会に出る力につながっていくとよい。
- 意見3：学校で学んだことを地域に出て体験的に学んでさらに力を付けていくために、どんどん地域に出て、豊富な地域資源を活用していくとよい。
- 意見4：在学中に地域の方々の見守りがあるうちに、失敗を繰り返しながらも様々なことを経験できるとよい。
- 意見5：ヘルプマークを付けて、配慮が必要なことを周囲に知ってもらったり、困ったときに「助けてほしい」と言える力を身に付けてほしい。
- 意見6：地域の公共交通機関を利用して、地元を知る活動をするとうい。
- 意見7：木工班の製品に付けられている刻印がとてもよい。他の作業班の製品にも、当校の製品であることが分かるロゴマークを付けてはどうか。タグのようなものを付けるとワンポイントにもなる。
⇒各作業班に提案する。
- 意見8：佐藤一斎學びのひろばに作業製品等の展示ができるので活用してほしい。また、地域でのいろいろなイベントに販売等で参加してほしい。
- 意見9：佐藤一斎や地域にまつわる偉人等の学習講座を開催しているので、児童生徒に参加してもらえるとよい。
⇒休日の参加は難しいが、出前講座は可能か。
- 意見10：講師と相談していただくとよい。

(4) 高等部作業製品販売価格について

学校：令和7年度高等部作業製品販売価格一覧表にて提案。新製品等説明。

意見1：市場価格をもとに、価格設定の根拠が明確であり、妥当な販売価格である。

◎高等部作業製品販売価格について、全委員より承認を得た。

6 会議のまとめ

- ・今年度の各学部の取組状況や次年度の方向性について理解を得られた。
- ・委員の方から、地域の施設や人材の活用について、具体的な提案をいただいた。
- ・積極的に地域に出て活動する中で、児童生徒のことを知ってもらい理解を広げ、生活経験の拡大を図ることの必要性を確認できた。
- ・高等部作業製品の販売価格について、委員に意見を求め協議を行い、承認が得られた。
- ・本会議で得られた意見や具体的な提案を、次年度の教育活動や学校運営に生かしていく。